

★奈良市子ども会議 開催内容一覧表（随時更新予定）

年度	参加人数	テーマ	子どもたちの提案内容	実施内容	その後
H27	42	子どもたちによるテーマ設定	・テスト前などに自習できる図書館が近くにほしい	・中央図書館、西部図書館の自習室開放	・自習室の開放を継続中
H28	37	①いじめ②財政③環境④居場所・遊び場	・教室を涼しくしよう（扇風機の増設、冷水器の設置など） ・自治会長さんといっしょにボール遊びのルールをつくりたい	・扇風機増設、冷水器設置（H29） ・自治会と子どもたちが、話し合う機会を設定（提案者の居住地域）	・市立小中学校、幼稚園にエアコンを設置 ・放課後子ども教室の時間を活用して、校庭でボール遊びを実施（提案者の居住地域）
H29	28	いじめ	・相談窓口の広報のために、身近なものを使って宣伝する（ティッシュやマグネットなど）	・ポスターやカードの図案を中学生が考案し、子どもだけでなく保護者へも啓発。 ・子どもたちの意見から「相談員には元学校の先生もいます」の文言を記入。	・ストップいじめなら子どもサミット実施 ・いじめ相談電話「ストップいじめならダイヤル」の相談を24時間対応に拡充（H30） ・SNS相談アプリ「STOPit（ストップイット）」の導入（H30）
H30	20	子どもの遊び場	・安全に遊べるように遊具の周りにマットを敷いてほしい ・遊び場のトイレを整備してほしい ・川の周りは屋台を作ってほしい	芝辻町4丁目緑地にて「まちの食卓」イベントを実施（マット遊具「エアトラック」・仮設トイレ・キッチンカーを設置）	・奈良市公園マネジメント基本計画策定（R4.10） →トリアルサウンドイングやタイムシェア・ソーニングについて、一部の公園で調整中 ・奈良市子どもセンター内に遊び場設置
R1	22	2020年オリンピックに向けて奈良市に訪れる人にもやさしいまちとは？	・日本文化のイベント ・奈良のオススメの場所の広報活動 ・観光客へ街頭インタビューを行い、お礼品をプレゼントする	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
R2	30	コロナ禍での奈良市の「新しいおもてなし」とは？	・オンラインで日本文化の体験イベントを実施 ・SNSで奈良のおすすめスポットを広報	関係各課でウェブ配信等を随時実施	・新型コロナウイルス感染症対策を取り入れた提案を再検討したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。 ・奈良の観光情報・スポットの広報について、関係団体にて、YoutubeやSNSで継続実施。
R3	20	みんなどうしてる？withコロナの過ごし方	・退屈しないおうち時間 ・お家でできる！withコロナの過ごし方 ・読書、ゲーム、音楽、スポーツ（運動・筋トレ）、家族との時間を大切に、手作りに挑戦など	「withコロナの過ごし方」アイデア集を作成し、ホームページに公開	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、その役割を終了
R4	26	笑顔があふれるあそび場をつくろう！	・「運動で広げる子供の未来」 ・「非日常感が味わえるスケールの大きな遊び場をつくろう！」 ・「非日常を楽しむ！最幸の遊び場！！」 ・「安くて、楽しくて、みんなで遊ぼう」 ・「誰でも気軽に遊べる場所」	ロートフィールドで移動あそび場を開催。子どもたち自身が、ルール作りや準備、当日の遊びのサポーターに関して、企画を実現。	フレイリダー養成講座やあそび場支援アドバイザーの派遣を実施し、各地域でのあそび場事業の継続実施を検討（R5）
R5	25	みんなが自分らしく生きられる社会について考えよう！	・奈良市のサービスの向上&拡散（市の補助サービス） ・職場風土の改善。自己主張できるようになる。	・性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、「具体例」と「対策方法」についてまとめ、奈良市ホームページに掲載し、啓発。	・市内の大学と連携した調査研究や学習機会を作るとともに、男女共同参画週間におけるパネル展の開催（市庁舎1階連絡通路・男女共同参画センター）によるアンコンシャスバイアスの啓発やアンガーマネジメントに関する講座を実施。
		お年寄りとの交流について考えよう！	・ご飯とまつりなどでコミュニケーションの機会を増やす。	・お年寄りとの交流の拠点の候補地の視察を実施 ・地域で実施されている子どもとお年寄りの交流についての情報収集や、関係機関との打ち合わせを実施	地域の拠点でお年寄りとの交流できるイベントの開催を目指し、地域の団体や関係機関等との調整や準備について、各地域の実情や必要に応じて実施。
		子どもの権利について考えよう！	・アンケートをする。気軽に相談できる環境をつくる。	「子どもの権利に関するアンケート」を実施し、子ども向けリーフレットを作成・配布（R5）。	アンケート結果を踏まえ、学校園への「子どもの権利」に関する動画資料の提供を実施。 また、子どもの権利に係る講演会を開催するとともに、子ども向けのパンフレット等による周知・啓発を実施。
		SNSやゲームとの関わり方について考えよう！	・正確な数値を調査を出して、ガイドラインを作る。	香川県のゲーム依存症対策条例の策定背景や効果、課題等を調査中。	香川県による調査を参照し、条例の効果測定が現時点では不十分であることから、ゲームとの関わり方を行政の施策として規制・啓発することについては慎重な対応が必要と判断し、一律的なガイドライン作成ではなく、市の相談窓口を通じて寄せられた相談について個別対応を実施。
		新しいクリーンセンターをどんな場所にしたいか考えよう！	・安全で、みんなの人気を集める楽しいクリーンセンターを新設する。	新クリーンセンター整備に関する基本的な方向性をまとめた「奈良市新クリーンセンター施設基本構想」を策定した他、「新クリーンセンター事業概要書」、「新クリーンセンター施設整備基本計画（案）」の作成・公表を実施。	子ども会議での提案内容及びパブリックコメントでの意見を踏まえ、「新クリーンセンター施設整備基本計画」の策定に向け検討。
R6	22	子どもにやさしいまちについて考えよう	・安心、安全 ・誰にでもできる、わかる ・相談 ・クリーンで過ごしやすいまち ・子どもの居場所、遊び場 ・健康 ・学校生活 ・人権、平等 ・地域振興、文化継承 ※上記の幅広い分野に、グループごとに意見提案	関係各課に提案内容を共有し、奈良市として、実施していること・検討していること・対応が難しいことなど、それぞれの項目に応じた状況を整理し、子ども達に回答するとともにHPに内容公表。	第三期奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン（子ども子育て支援事業計画/子ども計画）に意見内容の一部を取り入れる形で、行政計画を策定。
R7	16	奈良市の防災を考えよう！	・子ども目線の防災士 ・車中泊でのエコノミークラス症候群を防ぐための対策 ・防災に関する体験を通して、全世代（特に子ども）に防災を深く知ってもらう ・災害時の情報不足解消について	関係各課に提案内容を共有し、奈良市として、実施していること・検討していること・対応が難しいことなど、それぞれの項目に応じた状況を整理し、回答説明会にて直接子ども達に回答するとともにHPに内容公表。	子ども会議にて、子ども達提案で作成されたイラストを防災啓発ポスターのデザインとして起用し、周知を実施。